



おおにしだより

第29号

平成25年11月15日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

食物は体の糧、読書は心の糧！！



本を読み、楽しい世界を広げるために

本校の子どもたちは皆、読書が大好きです。図書室の貸し出し状況からも、本をたくさん読む習慣のついていることがよくわかります。

また、授業前の「朝の読書」では、各自が思い思いの本を熱心に読んでいます。これによって、「読書の習慣がついた」「主体的に本を読めるようになった」「集中力がつき、落ち着いて生活できるようになった」等の成果があがっています。これから

表情劇「わらしべ長者」も、子どもたちが本に親しみ、楽しい世界を広げ、心豊かな生活を過ごせるように、励ましてまいりたいと考えます。

本校では、10月28日（月）から11月1日（金）までを、「校内読書週間」とし、読書の興味を喚起させるため、本に関する様々な行事を行いました。また、読み聞かせボランティアグループ「ひまわりクラブ」の皆様には、本年度も楽しい表情劇を見せていただきました。会場となった音楽室は、童話「わらしべ長者」の世界に変身し、その中に子どもたちが引き込まれていきました。

子どもたちは毎年、公演の何日も前から「早く表情劇が見たいなあ」と楽しみにしています。優しさに満ち溢れた熱演に、観客席は笑顔でいっぱいになりました。これからも、子どもたちの「心の糧」になる、すばらしい表情劇をよろしく願いいたします。

心の教育と家庭とともに

変化の激しいこれからの社会を生きるためには、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスを重視する「生きる力」を育むことが何よりも大切です。

また、これからの教育においては、時代の変化とともに、変えていく必要があるもの（流行）と、時代を超えても変わらない価値のあるもの（不易）を大切にすることが重要です。この「不易」とは、せんじつめれば「心の教育」です。今後も、21世紀に生きる豊かな心を持つ子どもの育成に努めてまいりたいと考えます。

本校では、「**道徳教育の充実**」を学校経営方針に位置付け、子どもたちの人間らしい温かさ、優しさに充ちた学校づくりに努力しております。今後も、思いやりの心、優しい心の育成に向け、より一層、力を入れてまいりたいと考えます。

なお、他を思いやる心、社会規範を守る心など、豊かな心を持つ子どもに育てるには、学校、家庭、地域社会が丸となって取り組むことが必要です。とりわけ、幼児期からのしつけや家庭教育が何よりも重要です。家庭が、生涯学習の原点であることを考えると、「心の教育」の基礎基本も家庭からと考えます。

キレイな子どもを育てるには・・・

下都賀教育事務所ふれあい学習課副主幹の秋山貴子先生を講師に招き、「**ハッピー子育て講座**」（家庭教育学級）を開催いたしました。今回は、「キレイな子どもを育てるには」をテーマに、家庭における子どもとの関わりを、参加者全員で考えました。



子どもの理解や子どもへの接し方、親子のコミュニケーション等、**「子育て講座」**子育てに必要なスキルについて、保護者同士が、身近なエピソードやワークを通して話し合い、交流し合いながら主体的に学ぶ参加型の学習プログラムでした。

話し合いを進めていく中で、自分自身の問題に気づいたり、親としてのあり方や役割について考えたり、整理したりするきっかけとなりました。50人を超える参加者全員が、楽しく、そして熱心に交流し、約1時間があっという間に過ぎていきました。

講師の秋山先生同様、生き生きとした笑顔がランチルーム一杯に溢れ、素晴らしい家庭教育学級となりました。参加者の感想をご紹介します。

【参加者の感想より】

「最近、子どもを“しかる”ではなく“おこる”機会が多く、“おこる”度に疲れを感じていた頃に、このテーマのプリントを見て、参加したいと思いました。講師の先生の話を聞く内容だと思っていたが、グループワークをするという意外な内容に戸惑いでしたが、楽しく参加できました。

グループワークをして、驚いたことは、“キレない子どもを育てるには”のテーマの逆のことを考えたこと。そして、誰もが、どのグループも同じような意見をもっていったことでした。つまり、誰もが理解はしているということ。そして、一番最後の言葉「親がキレない！！」が深く心に刻まれ、子どもとのコミュニケーションを大切にしていきたいと感じました。

この参加型の勉強は、強く印象に残り、とてもいい時間を過ごせました。また、このような勉強会であれば参加したいと思います。ありがとうございました。

地域との絆を深めた「ふれあいのつどい」

10月30日（水）、「ふれあいのつどい」が、大勢の祖父母、保護者、地域の皆様をお迎えして行われました。この活動は地域の方々と「なかよしグループ」（異学年グループ）の交流をねらいとした児童会行事で、本校の特色ある教育活動の一つです。

体育館で行った「はじめの会」では、参加者紹介の後、「伝言ゲーム」を行いました。その後、各教室を会場に、豆つかみ皿うつし・空き缶積み・200gに挑戦・ピンポンカップ等のゲームを楽しみましたが、地域の皆様には、ゲームの説明役として、また、審判として優しく接してくださいました。地域の皆様から励ましの言葉もらった子どもたちは皆、嬉しそうでした。



ご来校の皆様方には、今まで以上に、学校を身近に感じていただける機会になったことと思います。また、子どもたちにとっても、地域の方々と「絆」を感じることができ、大変有意義な会になりました。

大きな成果を残し、PTAバザーが無事終了！ ご協力に感謝いたします。

11月9日（土）に行いました「PTAバザー」では、お忙しいところご協力くださりまして、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。お陰様で、たくさんの収益をあげることができました。

当日は、バザー物品販売のほか、5年生児童が手塩に掛けて育ててきた「無農薬栽培天日干し」の新米も販売しました。このお米は、富田七の野原耕作様をはじめ関係者の方々のご指導の下、種籾まき、田植え、稲刈り、はぜかけ天日干し、脱穀と、一連の作業に5年生児童が貴重な体験をさせていただいたものです。“ふるさと大平”の美しい自然や、地域の方々の温かな人間性に、改めて感激いたしました。ありがとうございました。



また、6年生とミュージック部児童によるコンサートも行われ、素晴らしい演奏を発表しました。PTA役員の皆様は勿論、たくさんのPTAバザーボランティア（焼きそば作り・物品販売等）として大活躍の皆様、パトロールにご協力いただきました「子どもを守る会」の皆様には、大変お世話になりました。

本校及び本校児童たちのために、惜しみないご支援をしてくださる保護者や地域の皆様の姿に、『チームおおにし』としての“地域力”を感じた一日となりました。

なお、バザーの益金につきましては、周年事業をはじめ、今後の諸教育活動において、有効に活用させていただきたいと思っております。

☆ 平成25年度PTAバザー収益金（最終集計）

290,384円



ポップコーン
おいしいよ～



西小ブランド米
いかがですか～